

業績集：骨代謝内科

- ・藤田 拓男, 遠藤 康男, 大植 瞳, 山村 典子, 常徳 剛, 藤井 芳夫, 宮内 章光, 高木 康行：骨粗鬆症と変形性関節症に伴う疼痛に対する抗ヒスタミン剤レスタン・クラリチン混合クリームの局所塗布の効果. *Osteoporosis Japan*(0919-6307)23巻 Suppl.1 Page 348(2015.08).
- ・藤田 拓男, 大植 瞳, 青山 竜二, 田中 智大, 藤井 芳夫, 常徳 剛, 宮内 章光, 高木 康行：活性吸収型海草カルシウム(AAACa)による血中総過酸化物の減少. 日本骨代謝学会学術集会(1349-0761)32回 Page 295(2014.07).
- ・Fujita T, Fukunaga M, Itabashi A, Tsutani K, Nakamura T. Once-Weekly Injection of Low-Dose Teriparatide (28.2 µg) Reduced the Risk of Vertebral Fracture in Patients with Primary Osteoporosis. *Calcif Tissue Int.* 2014 Feb;94(2):170-5.
- ・藤田 拓男, 高石 佳知, 大植 瞳, 常徳 剛, 藤井 芳夫, 宮内 章光, 高木 康行, 三木 隆己：歯槽骨骨密度測定(Bone Right)の示した顎骨のビスホスホネートに対する反応の特異性ことに腰椎・大腿骨頸部との比較. *Osteoporosis Japan*(0919-6307)22巻 3号 Page 522-524(2014.07).
- ・藤田 拓男：【骨粗鬆症における疼痛対策】骨粗鬆症治療薬による疼痛改善効果.骨粗鬆症治療(1347-572X)12巻 3号 Page 176-180(2013.09).
- ・Fujita T, Ohue M, Fujii Y, Jotoku T, Miyauchi A, Takagi Y, Tsuchiya M, Endo Y. : Prompt analgesic effect of antihistaminic diphenhydramine ointment on bone-joint-muscle pain as assessed by skin impedance. *Pharmacology.* 2013;92(3-4):158-66.
- ・藤田 拓男：骨粗鬆症・酸化ストレス・カルシウムパラドックス. 日本歯科骨粗鬆症研究会. *Osteoporosis Japan*(0919-6307)20巻 2号 Page 319(2012.04).
- ・Fujita T, Ohue M, Nakajima M, Fujii Y, Miyauchi A, Takagi Y.: Comparison of the effects of elcatonin and risedronate on back and knee pain by electroalgometry using fall of skin impedance and quality of life assessment using SF-36. *J Bone Miner Metab.* 2011 Sep;29(5):588-97.
- ・藤田 拓男, 大植 瞳, 藤井 芳夫, 中島 幹雄, 宮内 章光, 高木 康行. 運動器疾患ごとに骨粗鬆症・変形性関節症等筋疲労に伴う疼痛に対する抗ヒスタミン剤局所療法の効果. *Osteoporosis Japan*(0919-6307)19巻 Suppl.1 Page 331(2011.11).
- ・藤田 拓男, 大植 瞳, 板倉 良友, 中島 幹雄, 藤井 芳夫, 宮内 章光, 高木 康行：骨粗鬆症に対するビスフォスフォネートと活性吸収型カルシウム(AAACa)の併用の脊椎骨密度及び椎体変形度に対する効果. *Osteoporosis Japan*(0919-6307)19巻 Suppl.1 Page 308(2011.11).
- ・藤田 拓男, 大植 瞳, 中島 幹雄, 藤井 芳夫, 宗實 広美, 宮内 章光, 高木 康行：ラロキシフェンの鎮痛効果 皮膚インピーダンス低下測定による疼痛の客観的計量的判定(痛電計)の応用. SERM: Selective Estrogen Receptor Modulator 9号 Page 76-77(2011.09).
- ・Fujita T, Fujii Y, Munozane H, Ohue M, Takagi Y.: Analgesic effect of raloxifene on back and knee pain in postmenopausal women with osteoporosis and/or osteoarthritis. *J Bone Miner Metab.* 2010 Jul;28(4):477-84.
- ・藤田 拓男, 扇谷 茂樹, 大植 瞳, 藤井 芳夫, 宮内 章光, 高木 康行：加齢と赤血球内カルシウム濃度増加及びカルシウム補給による減少. 日本老年医学会雑誌(0300-9173)47巻 4号 Page 359(2010.07).

- ・藤田 拓男, 大植 瞳, 藤井 芳夫, 宮内 章光, 高木 康行: ミノドロネートの鎮痛作用. *Osteoporosis Japan*(0919-6307)18巻2号 Page 303-308(2010.04).
- ・藤田 拓男, 大植 瞳, 藤井 芳夫, 宮内 章光, 高木 康行: 骨粗鬆症・変形性関節症関連の疼痛と QOL に対するエルカトニンとリセドロネートの効果の比較 皮膚インピーダンス低下の測定(痛電計)と SF-36 による検討. *Osteoporosis Japan*(0919-6307)18巻1号 Page 57-58(2010.01)
- ・藤田 拓男, 大植 瞳, 藤井 芳夫, 宮内 章光, 高木 康行: 骨粗鬆症・変形性関節症関連の疼痛と QOL に対するエルカトニンとリセドロネートの効果の比較 皮膚インピーダンス低下の測定(痛電計)と SF-36 による検討. *Osteoporosis Japan*(0919-6307)17巻 Suppl.1 Page 173(2009.09).
- ・Fujita T, Ohue M, Fujii Y, Miyauchi A, Takagi Y.: Comparison of the analgesic effects of bisphosphonates: etidronate, alendronate and risedronate by electroalgometry utilizing the fall of skin impedance. *J Bone Miner Metab.* 2009;27(2):234-9.
- ・藤田 拓男, 大植 瞳, 藤井 芳夫, 宮内 章光, 高木 康行: Bisphosphonate の鎮痛効果痛電計による Etidronate,Alendronate,Risedronat の比較. *Osteoporosis Japan*(0919-6307)15巻 Suppl.1 Page215(2007.10).
- ・Fujita T, Orimo H, Inoue T, Kaneda K, Sakurai M, Morita R, Yamamoto K, Sugioka Y, Inoue A, Takaoka K, Yamamoto I, Hoshino Y, Kawaguchi H.: Clinical effect of bisphosphonate and vitamin D on osteoporosis: reappraisal of a multicenter double-blind clinical trial comparing etidronate and alfacalcidol. *J Bone Miner Metab.* 2007;25(2):130-7.
- ・Fujita T, Nakamura S, Ohue M, Fujii Y, Miyauchi A, Takagi Y, Tsugeno H.: Postural stabilizing effect of alfacalcidol and active absorbable algal calcium (AAA Ca) compared with calcium carbonate assessed by computerized posturography. *J Bone Miner Metab.* 2007;25(1):68-73.
- ・藤田 拓男, 大植 瞳, 中村 昌司, 藤井 芳夫, 宮内 章光, 高木 康行: 骨粗鬆症と骨折 グラビコーダーによる重心動搖パラメーターの測定による解析. *Osteoporosis Japan*(0919-6307)14巻 Suppl.1 Page122(2006.09).
- ・Fujita Takuo, Orimo Hajime, Inoue Tetsuo, Kaneda Kiyoshi, Sakurai Minoru, Morita Rikushi, Yamamoto Kichizo, Sugioka Yoichi, Inoue Akio, Takaoka Kunio, Yamamoto Itsuo, Hoshino Yuichi, Kawaguchi Hiroshi: ビスホスホネートとビタミンDの骨粗鬆症に対する臨床効果 エチドロネートとアルファカルシドールを比較した多施設二重盲検臨床試験の再評価. *Journal of Bone and Mineral Metabolism*(0914-8779)25巻2号 Page130-137(2007.03).
- ・Fujita Takuo, Nakamura Shoji, Ohue Mutsumi, Fujii Yoshio, Miyauchi Akimitsu, Takagi Yasuyuki, Tsugeno Hirofumi: 重心動搖検査により評価される身体動搖に対する年齢の影響. *Journal of Bone and Mineral Metabolism*(0914-8779)23巻2号 Page152-156(2005.02).
- ・藤田 拓男, 大植 瞳, 藤井 芳夫, 宮内 章光, 高木 康行: 二重エネルギーX線吸収法(DXA)による腰椎骨密度測定と末梢型コンピュータ断層測量法(pQCT)による橈骨海綿骨皮質分離測定による骨折予測効率の比較. *Osteoporosis Japan*(0919-6307)13巻 Suppl.1 Page 203(2005.09).
- ・藤田 拓男, 大植 瞳, 藤井 芳夫, 宮内 章光, 高木 康行: ビスフォスフォネートによる骨関節痛の鎮痛効果の痛電計による客観的定量的比較. *Osteoporosis Japan*(0919-6307)13巻 Suppl.1 Page 151(2005.09)
- ・扇谷 茂樹, 藤田 拓男, 大植 瞳, 溝上 聰, 海老原 穎博, 藤井 芳夫, 宮内 章光, 高木 康行, 杉下 岳詩: 骨折の危険因子としての骨量と生活習慣葛城病院骨粗鬆症外来におけるアンケート調査. *Osteoporosis*

- ・ Fujita T, Ohue M, Fujii Y, Miyauchi A, Takagi Y.: Reappraisal of Katsuragi calcium study, a prospective, double-blind, placebo-controlled study of the effect of active absorbable algal calcium (AAACa) on vertebral deformity and fracture. *J Bone Miner Metab.* 2004;22(1):32-8.
- ・ 藤田 拓男 :【カルシウム関連新薬の展望】食による骨の強化 カルシウムについての考え方を変えた AAA カルシウム(解説). *Clinical Calcium*(0917-5857)15巻 1号 Page 87-93(2004.12).
- ・ 藤田 拓男, 大植 瞳, 中村 昌司 :重心動搖の加齢による変化と活性吸収型カルシウム及びアルファカルシドールの効果 :日本老年医学会雑誌(0300-9173)41巻 3号 Page 346(2004.05).
- ・ 藤田 拓男, 大植 瞳, 中村 正司, 藤井 芳夫, 宮内 章光, 高木 康行 :骨粗鬆症及び変形性脊椎症における重心動搖試験. *Osteoporosis Japan*(0919-6307)10巻 Suppl.1 Page 150(2002.10).
- ・ 腰椎変形度の定量的表現の試み 腰椎骨密度の個体内変動度の年齢による変化と変形性脊椎症:藤田 拓男, 大植 瞳, 溝上 聰, 海老原 穎博, 藤井 芳夫, 宮内 章光, 高木 康行. *Osteoporosis Japan*(0919-6307)9巻 Suppl.1 Page 97(2001.08)
- ・ Fujita T, Ohue M, Fujii Y, Miyauchi A, Takagi Y.:Intra-individual variation in lumbar bone mineral density as a measure of spondylotic deformity in the elderly. *J Bone Miner Metab.* 2003;21(2):98-102.
- ・ 藤田 拓男 :骨疾患のルーツを探る骨粗鬆症. *骨粗鬆症治療*(1347-572X)1巻 1号 Page 62-63(2002.10)
- ・ Fujita T, Ohue M, Fujii Y, Miyauchi A, Takagi Y.:The effect of active absorbable algal calcium (AAA Ca) with collagen and other matrix components on back and joint pain and skin impedance. *J Bone Miner Metab.* 2002;20(5):298-302.
- ・ 藤田 拓男, 大植 瞳, 溝上 聰, 海老原 穎博, 藤井 芳夫, 宮内 章光, 高木 康行 :腰椎変形度の定量的表現の試み 腰椎骨密度の個体内変動の年齢による変化と変形性脊椎症. *Osteoporosis Japan*(0919-6307)10巻 2号 Page 207-209(2002.04)
- ・ 藤田 拓男 :痛みの定量 痛電計による皮膚インピーダンスの測定(解説) :痛みと臨床(1345-9023)2巻 1号 Page 121-123(2001.12).
- ・ Fujita Takuo, Fujii Yoshio, Okada Seiko F., Miyauchi Akimitsu, Takagi Yasuyuki :退行性関節疾患に対するetidronate の鎮痛効果(Analgesic effect of etidronate on degenerative joint disease). *Journal of Bone and Mineral Metabolism*(0914-8779)19巻 4号 Page 251-256(2001.07).
- ・ 藤田 拓男 :骨代謝研究の歴史 生物系におけるカルシウムの役割の研究史. *Clinical Calcium*(0917-5857)11巻 4号 Page 506-508(2001.03).
- ・ Fujita Takuo :カルシウム・パラドックス 広範囲の疾患に表現されるカルシウム欠乏症の結果(解説/英語). *Journal of Bone and Mineral Metabolism*(0914-8779)18巻 4号 Page 234-236(2000.05)
- ・ Fujita Takuo, Fujii Yoshio, Goto Bunrei, Miyauchi Akimitsu, Takagi Yasuyuki :Peripheral computed tomography(pQCT)は AAA Ca(heated oyster shell with heated algal ingradient. *Journal of Bone and Mineral Metabolism*(0914-8779)18巻 4号 Page 212-215(2000.05).
- ・ 溝上 聰, 海老原 穎博, 藤田 拓男, 藤井 芳夫 :変性性関節疾患における骨密度,各椎体間の密度の変動と pQCT による皮質骨と海綿骨の分離測定. *日本老年医学会雑誌*(0300-9173)36巻 7号 Page 466-471(1999.07).
- ・ Fujita Takuo, Ohgitani Shigeki, Nomura Masakatsu :興奮性 TV プログラム観察時の血液イオン化カルシウ

ム低下及び活性被吸収性藻類カルシウム(AAA Ca)によるその防止. Journal of Bone and Mineral Metabolism(0914-8779)17巻2号 Page 131-136(1999.02).

・藤田 拓男:【骨代謝マーカー「CrossLaps」の臨床的有用性の評価】就寝前のカルシウム服用と尿中CrossLaps 値:新薬と臨牀(0559-8672)47巻5号 Page 699-703(1998.05).

・溝上 聰, 他:変性性関節疾患における骨密度 pQCT による皮質骨と海綿骨の分離測定. 日本老年医学会雑誌(0300-9173)35巻 Suppl. Page100(1998.05).

・溝上 聰, 他:骨量全身分布に関する研究 性・年齢及び活動度による差について. 日本老年医学会雑誌(0300-9173)34巻9号 Page 762-763(1997.09).

・藤田 拓男:骨粗鬆症の薬剤療法, 兵庫県医師会医学雑誌(0910-8238)39巻4号 Page 167-171(1997.04).

・藤田 拓男, 藤井 芳夫:変形性脊椎症,変形性関節症に対するエチドロネート・2・ナトリウム(ダイドロネル)の効果:新薬と臨牀(0559-8672)46巻7号 Page 864-874(1997.07).

・溝上 聰, 他:骨量全身分布に関する研究 性・年齢及び活動度による差について. 日本老年医学会雑誌(0300-9173)34巻 Suppl. Page 78(1997.05).

・藤田 拓男:老人医療 老人の骨と関節の病気. からだの科学(0453-3038)179号 Page 29-32(1994.11).

・藤田 拓男:骨粗松症 概論 概念,分類,外国および本邦における疫学的事項. 日本臨床(0047-1852)52巻9号 Page 2275-2280(1994.09).

・松浦 徹:老年者における運動能力と骨量の関係. 日本老年医学会雑誌(0300-9173)30巻7号 Page 636(1993.07).

・大植 徹:高齢者における炎症性マーカーとしての免疫抑制性蛋白の有用性について. 日本老年医学会雑誌(0300-9173)30巻2号 Page 159(1993.02).

・松浦 徹:生活状態ごとに運動の程度の骨粗鬆症の進展及びカルシウム補給の効果に対する影響. 日本老年医学会雑誌(0300-9173)29巻3号 Page 220-221(1992.03).

・松本 晶夫:橈骨骨塩量のシングルフォトン吸入法及び二重エネルギーX 線吸収法による測定の比較. 日本老年医学会雑誌(0300-9173)29巻3号 Page 219(1992.03).

・松本 晶夫:骨量の年齢的变化とこれに影響を及ぼす諸因子(1) シングルフォトン吸収による追跡調査. 日本老年医学会雑誌(0300-9173)28巻5号 Page 705(1991.09).

・松河 一主功:老人病の予後と検査所見,ごとに栄養・腎機能・骨代謝の意義:日本老年医学会雑誌(0300-9173)27巻5号 Page 657-658(1990.09).

・高瀬 勝:老年者における骨量測定(1) 単一ガンマ線吸収法と QCT の比較及び時間的経過日本老年医学会雑誌(0300-9173)26巻5号 Page 543-544(1989.09).

・坂本 千城:栄養及び運動と骨粗鬆症,ごとにカルシウム補給の効果日本老年医学会雑誌(0300-9173)25巻4号 Page 459(1988.07).

・坂本 干城:定量的 CT 法による椎体骨密度の測定と年齢的变化日本老年医学会雑誌(0300-9173)24巻5号 Page 483-484(1987.09).

・吉武 淳介:超高齢化社会へ向けての医療 安心して委ね得るシステム確立を. 大阪府医師会報(0285-0974)226号 Page80-81(1987.03).

・坂本 千城:カルチトニンによる骨粗鬆症の治療と免疫機能. 日本老年医学会雑誌(0300-9173)23巻3号 Page 336-337(1986.05).

- ・坂本 千城：骨粗鬆症の治療とリンパ球サブセット。日本老年医学会雑誌(0300-9173)22巻2号Page 182-183(1985.03).
- ・坂本 千城：骨粗鬆症と免疫機能 T リンパ球サブセットの変化について。日本老年医学会雑誌(0300-9173)21巻3号Page 272-273(1984.05).
- ・坂本 千城, 渡辺 武夫, 坂本 洋子：骨粗鬆症における免疫異常。日本老年医学会雑誌(0300-9173)20巻6号Page 485-490(1983.11).
- ・山岡 寿美子：骨粗鬆症と免疫 老年者における骨代謝とツベルクリン反応。日本老年医学会雑誌(0300-9173)20巻3号Page 278(1983.05).
- ・坂本 千城, 渡辺 武夫, 宮本 治子：老年者の椎体圧迫骨折と骨代謝 骨音波共鳴測定による観察。日本老年医学会雑誌(0300-9173)19巻5号Page 512-517(1982.09).
- ・坂本千城：骨音波共鳴測定による老年者骨疾患の研究。日本老年医学会雑誌(0300-9173)19巻1号Page 70(1982.01).